

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----|-----------|
| 園名 | 青梅梨の木保育園 |
| 日時 | 令和7年12月8日 |

1、活動テーマ

〈テーマ〉

園庭の畑の整備

〈テーマ設定理由・子どもの興味関心〉

・近くの市民農園で夏野菜づくりを毎年していたが、猛暑の為収穫に行くことが困難になり、植え付け・栽培・収穫を園庭でできるように畑の整備を行う。

2、活動スケジュール

・現在の園庭のポタジェ（花と野菜の菜園）だと、年少児が野菜が育つ前に取ってしまうので中がよく見えるが手が届かない囲いを作って、興味関心を深めて成長・収穫を楽しめるようにする。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・業者に工事を依頼。子どもが畑が良く見えることと安全を確保して製作してもらう。幼児が植え付け、栽培、収穫がしやすいように扉・鍵など検討。

4、探究活動の実践

活動内容

・猛暑の為、市民農園での活動が、往復と畑で20分ぐらいだが、危険になってしまい困っている。園庭のイチゴやインゲン等小さい子が見つけて取ってしまいがっかりする事を体験している幼児は、欲しいと思う気持ちは、理解しているが残念にも思っているので収穫までして食べることを喜び共感できるようにしていきたい。

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

・平成24年度より近くの市民農園を借りて、野菜作りを続けている。1年を通して根菜から葉物夏野菜も栽培収穫調理まで体験してきたが、近年の夏の暑さで、子どもたちが一番身近にしてきた夏の収穫が自分達で出来なくなって達成感が薄いと感じ、夏野菜は園庭で栽培収穫していたが、囲いがなく不便にしていた。



農以
園前
子園
←活
動の
民



工事前の
園庭の畑



工事後の園庭



・田んぼと畑に囲いを作ってもらったことで、毎日の観察や水やりが可能になった。今年度は夏は過ぎてしまったので、冬のらぼう菜などを年長児がとって年少児に渡したりかごに入れておき鳥骨鶏の餌にした。今年の夏が楽しみである。

5、振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・市民農園の活動13年目になる。主に4.5歳児クラスが畑に行き、じゃがいも玉ねぎを植えて夏のキャンプのカレーの材料にしたり、夏野菜を育てて順番に収穫に行き夕方のお迎えの時にみせやさんになって野菜を売って災害義援金や赤い羽根に募金をしたり、カブや大根を作って給食で食べたりもち帰ったりの活動をしている。他の活動は、続けられるが夏野菜の栽培収穫が猛暑の為無理になってしまっているの園内でできることを楽しみにしている。囲いの製作については、5歳児と話し合い扉や形など一緒に決めて工事も興味深く見て出来上がりを楽しんでいる。

